

平成25年12月4日

大津線 錦織車庫で「京阪本線特急色600形車両」の撮影会を開催します

- お客さまが持ち込まれたヘッドマークなどを着けての撮影も可能！
- イベント当日には「京阪本線特急色600型」による臨時列車を運転！
- 錦織車庫では大津線車両の車番プレートなど貴重な部品を販売！

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区、社長：加藤好文）の大津線（京津線、石山坂本線）では、12月21日（土）、錦織車庫にて「京阪本線特急色600形車両」の撮影会を開催します。当日は、同車両を用いた臨時列車も運転。また、車庫では大津線車両の車番プレートをはじめとする貴重な部品を販売します。

この「京阪本線特急色600形車両」は、かつて大津線で活躍した260型やその後継の300型がまとっていた塗装※を600形車両で再現したもので、大津線が開業100周年を迎えた昨年、同線で実施した様々な記念企画のうちのひとつです。昨年9月の運転開始以来、沿線のお客さまや鉄道ファンから好評を博しており、翌10月に四宮車庫で開催した撮影会には、約500名の方たちにご参加いただきました。

今回の撮影会では、当時の260型・300型が掲げていた列車種別・行先表示板はもちろんのこと、お客さまが持ち込まれたヘッドマーク等を着けての撮影も可能です。また、電車部品等の販売も実施しますので、撮影会、臨時列車と合わせてお楽しみいただければと考えております。

詳細は別紙のとおりです。

※ 戦後に製造され、大津線の近代化を象徴する存在として登場した260型とその後継の300型は、京阪本線の特急色をまとっていました。最も多い時期（昭和43～53年頃）には大津線を運行する車両の過半数を占めていました。



京阪本線特急色600形車両

(別紙)

「京阪本線特急色600形車両」イベントスケジュール

(1) 実施日

平成25年12月21日(土)

(2) 臨時列車の運転

臨時普通	近江神宮前発	11:11	→	石山寺着	11:36
臨時普通	石山寺発	11:39	→	浜大津着	11:56
臨時普通	浜大津発	11:57	→	四宮着	12:08
臨時普通	四宮発	12:37	→	浜大津着	12:49
臨時普通	浜大津発	12:50	→	石山寺着	13:06
臨時普通	石山寺発	13:09	→	浜大津着	13:26
臨時普通	浜大津発	13:27	→	近江神宮前着	13:33

(3) 撮影会および電車部品等の販売

① 場所

錦織車庫(所在地:大津市錦織2-7-16 最寄駅:近江神宮前駅)

② 時間

13:40~15:00(予定)

③ 撮影会について

260型や300型が当時掲げていた列車種別・行先表示板を着けた京阪本線特急色600形車両を撮影していただくことができます。また、ご自分で持ち込まれたヘッドマーク等を着けての撮影も可能です。

③ 電車部品等の販売について

大津線車両の車番プレートほか貴重な部品を販売いたします。



昨年の撮影会の模様

(参考)

○600形

大津線のサービス向上を目的に、昭和59年から20両が製造され、現在も石山坂本線の主力車両として活躍している車両です。塗色は通常、緑のツートーンとなっています。

定員：95人、新造：昭和59年4月

○260型

戦後、大津線の近代化を象徴する存在として登場。昭和32年から26両が製造され、同線で活躍しました。塗色はマンダリンオレンジとカーマインレッドの京阪本線特急色をまとい、京津線内では主に2両編成の急行として運用されました。昭和54年から一般色に変更されました。

定員：95人（片運転台車）、新造：昭和32年4月、廃車：昭和62年4月～平成9年10月

○300型

昭和40年から8両が製造され、大津線で活躍。当初は京阪本線特急色でしたが、晩年は一般色となりました。京津線内では、急行、準急に運用されました。

定員：95人、新造：昭和40年6月、廃車：昭和59年10月



260型



300型

以上